

第2次 五所川原市地域福祉活動計画

～ささえあいプラン～

2019年度～2023年度

2019年3月



社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会



笑顔でつながり

幸せあふれる

ごしょがわら

はじめに

少子高齢化や核家族化などの社会の変容は、地域の支え合い機能の低下とともに生活課題を複雑深刻化させております。その解決には、地域住民の理解や参画により、地域の連帯力を活かせる仕組み作りと活動展開が必要となります。また、地域共生社会の実現に向けた地域力強化と包括的な相談支援体制づくりが必要です。社協は組織・事業基盤を強化し、行政とのパートナーシップを築きながら協働の中核を担う組織になることが求められております。

社協では、平成26年3月に「第1次地域福祉活動計画」を策定し、五所川原市の地域福祉の推進に取り組んでまいりました。この間、計画通りに進行し成果が得られたものもあれば、更なる見直しや新たな取組を必要とするものもありました。

第1次福祉活動計画を振り返り、また、近年の社会情勢を踏まえ、地域の皆様の声を伺い、今後5年間の目指すべき姿として、「第2次地域福祉活動計画」の基本理念を「笑顔でつながり 幸せあふれる ごしょがわら」としました。

第1次計画の基本理念、「人と人、笑顔でつながり支える 幸せのまち」を更に発展させ、社協の原点である「地域福祉の推進」という観点に立ち返り、人とのつながり・地域とのつながり・関係機関とのつながりを積極的に構築します。

笑顔でつながった先に、年齢を問わず、障がいや病気の有無、立場の違いなどを超えて、この地域に生きる住民誰もが幸せにあふれるよう、市民と協働しながら、本計画を策定し、その実現に向けて計画的な地域福祉の推進に努めます。

本計画策定にあたり多大なご尽力を頂きました計画策定委員会の皆様、地区社会福祉協議会、関係機関・団体からの情報提供、市民アンケート調査やホームページでのパブリックコメント等にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

2019年3月

社会福祉法人

五所川原市社会福祉協議会 会長 角田 昭次

目 次

第1章 計画策定にあたって

(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画の期間	3
(4) 計画の策定方法	3

第2章 五所川原市の状況

(1) 人口の状況	5
(2) 世帯の状況	6
(3) 高齢者の状況	7
(4) 障がいのある人の状況	8
(5) 子育て世帯の状況	8
(6) 被保護世帯の状況	9

第3章 第1次計画の評価・整理および課題

(1) 基本目標1「みんながつながり、支え合えるまちをつくろう」	10
(2) 基本目標2「声を受け止め、丁寧な支援が届くしくみをつくろう」	11
(3) 基本目標3「みんなの学びと参加で、大きな福祉の輪をつくろう」	12
(4) 基本目標4「自分らしく、安心して暮らせるしくみをつくろう」	13
(5) 基本目標5「地域福祉を支える強い基盤をつくろう」	15

第4章 地域福祉活動の課題と方向性

(1) 地域で支え合い、助け合える仕組みづくり	16
(2) 災害時にも生かせるボランティア活動の促進	16
(3) 自分らしい暮らしを守る支援	17
(4) 複雑化する福祉ニーズに対応できる支援体制の整備	17
(5) 社協の認知度向上と地域福祉を支える基盤強化	18

第5章 計画の目指すもの

(1) 基本理念	20
(2) 基本目標	20
(3) 計画の体系図	22
(4) 具体的な取り組み	
基本目標 1	
つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』	21
基本目標 2	
安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』	25
基本目標 3	
自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』	27
基本目標 4	
ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』	30
基本目標 5	
地域福祉活動を支える『基盤づくり』	36

■ 資料

・ 市民アンケート調査結果報告（一部抜粋）	42
・ 地域福祉懇談会等での意見・要望等	57
・ 五所川原市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱	58
・ 五所川原市地域福祉活動計画策定委員会名簿	59
・ 五所川原市地域福祉活動計画作業部会名簿	60
・ 五所川原市地域福祉活動計画策定経過	61